

道標ない旅 考えて行動できる人

～自立・創造・しなやかな心～



令和5年度 第24号
2023.12.6発行
葉山町立南郷中学校
校長 益田 孝彦
Tel. 046-875-9494
Fax. 046-876-0684

<https://www.town.hayama.lg.jp/nangou/index.html>

◇◇ 第24号のダイジェスト ◇◇

1. 世界の人口予測が大きく変わってきているようです。「考えて行動できる人」を育むうえで、大切なことは、生徒一人一人の目線の先に、世界の情勢や動向が常にとらえられていることです。
2. 嬉しい知らせとして、逗葉地区大会でのバドミントン部の活躍が飛び込んできました。
3. 校長室で、「社会を明るくする運動」の表彰式を行い、山梨町長から賞状をいただきました。
4. 3年生の夏の宿題「税の作文」でも2名の受賞者が出ました。
5. 2年生の体育授業で、心肺蘇生講習会を実施し、大変有意義な体験をさせていただきました。

◆◆ 世界の人口予測が変わってきています。人口爆発より、世界的な人口減少が間近に・・・ ◆◆

先日講演で中国、インドはもちろんのこと、世界で人口が減少し始めると初めて聞きました。私はつい先日まで、「国連の主要な予測による、人口は今世紀いっぱいまで増え続け、70億人から110億人になり、人口が横ばいになるのは2100年以降。アジアやアフリカで人口が2億を越す国が続出」という予測を信じていました。そんな中、人口が減り続ける日本は没落していくのかなあとなんとなく不安に駆られていました。私の常識感を塗り替えるような説に出会うことは、大変重要な出来事だと捉えています。

検索してみると、「2050年 世界人口大減少 EMPTY PLANET」という名門調査会社イプソスのグローバルCEOと、カナダを代表する新聞社 The Globe and Mail のジャーナリスト共著の書籍が目にとまりました。

世界の人口がついに減り始めるといいます。人口はひとたび減少に転じると、二度と増加することなく減り続けるといいます。私たちの目前にあるのは人口爆発ではなく、人口減少なのでしょうか？ 新しい予測では、「世界人口は2040年から2060年の間に90億人となり、その後は減少に転じる可能性が高い。今世紀末には、世界人口が現在と同水準にまで戻り、その後は二度と増えることなく減少を続けるという。」「豊かな先進国で人口が減っているのは、いまさら騒ぎ立てることではない。だが驚くべき点は、巨大な人口を抱える発展途上国でも出生率が下がっており、中国やインドでさえ近い将来に人口が減り始めるということだ。」

人口予測は世界の動向・行く末を占う上で大変重要な要素です。あなたはどちらの予測が正しいと思いますか？ 予測できない時代に生きる生徒の皆さんは、「自分で考え行動できる人」になっていくことが重要です。どんな世の中がやって来ようとしているのか見極め、自分の選ぶ職業を選択し、将来の安定或いは、生きる希望につなげる自己推進力が求められます。そのためにも皆さんの目線の先には常に世界の情勢・動向が捉えられているように普段から心がけるようにしていきたいものです。

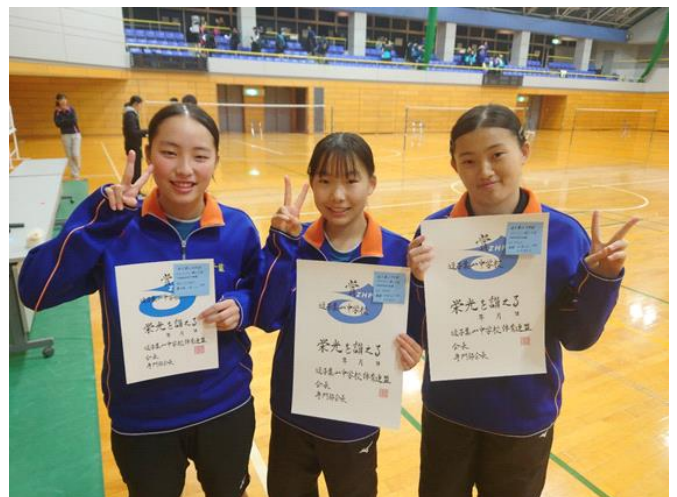
◆◆ バドミントン部も活躍してくれました。 ◆◆

11月25日(土)、逗子アリーナにて行われました令和5(2023)年度 逗子葉山中学校バドミントン新人大会において、生徒が活躍しました。

女子ダブルス優勝

女子シングルス3位

この結果、16日の横須賀ブロック大会につながっています。さらなる頑張りで県大会への切符を手にしてほしいなと願います。



◆◆ 「社会を明るくする運動」の表彰式にて山梨町長から賞状をいただきました。 ◆◆

第 18 号で紹介した、2年 〃 3年 〃 2年 〃 3年 の4名が、12月5日(火)に、本校校長室で山梨町長から賞状をいただきました。皆いい表情をしていました。



◆◆ 中学生の「税についての作文」においても受賞者が出ました。 ◆◆

3年生の夏休みの宿題での取り組みの結果、2名の生徒が受賞につながりました。おめでとうございます。

3年 『「誰か」の手』 葉山町教育委員会教育長賞
3年 『税を知ること』 鎌倉税務署管内納税貯蓄組合連合会優秀賞

◆◆ 2年生体育の授業にて心肺蘇生訓練を実施し、有意義な体験をさせていただきました。 ◆◆



12月4日(月)1～3時間目で2年生保健体育の授業において、「心肺蘇生法」の授業を行いました。講師としてPTA会長の 〃 さんと、葉山町赤十字奉仕団の 〃 さんをお招きし、意識がない傷病者に対し、居合わせた人がどのような行動をとるべきなのかを正しく理解するため、具体的な実習を通して学びました。大変ありがたい実学体験となりました。何かの折に人の命を救うことができるかもしれません。日頃からこういった実学を身につけていってほしいなと心から思います。